

新製品 新技術紹介

パソコン決裁 inpplet (インプレット)

舟橋 紳吉郎

シヤチハタ株式会社 代表取締役社長
〒451-0021 名古屋市西区天塚町4-69
TEL 052-521-3635 FAX 052-521-3756
<http://www.shachihata.co.jp/>



ています。

アプリケーションでは印鑑データを管理しており、タブレットから通知された電子印鑑の持つ数値情報を元に、予め関連付けられた印鑑データを取得します。

印鑑データの関連付けは、シヤチハタ工場の生産ラインにて実施されます。実物の印面と同じ印影がコンピュータ上で利用できるのはこのためです。

捺印された印影は、外見上は画像ですが、単なる画像として文書中に付加されるのでは無く、その印影の裏側に様々な属性情報を保持しています。例えば、捺印時間、捺印者名、捺印時のコンピュータ情報（ネットワーク情報）等があります。また、これらの情報は、印影の利用履歴として専用の管理ツールから閲覧する事ができ、不正利用を抑制する機能として用意しています。

さらに企業間での電子文書交換におけるセキュリティを高めるために、PKI（公開鍵基盤）機能を用意しております。これは、アドビシステムズ社の製品である Acrobat 対応のアプリケーションで、コンピュータにインストールされた電子証明書を使って、PDF ファイルに印影付きの電子署名を付加させる事ができます。これは、電子署名法により、署名捺印された文書と同等の法的が認められるものとなります。

※ Acrobat はアドビシステムズ社の登録商標です。

まえがき

「パソコン決裁」は、従来手作業であった“なつ印”という動作をパソコンの画面上でできるシステムで、第一弾を1995年に発売いたしました。

紙を不要とする電子ツールを開発することは、紙に押すスタンプが主力商品である弊社にとっては「自らの首を絞めるのではないかと大変悩みました。しかし、パスワードや電子暗号が、印鑑に変わってコンピューターネットワークの世界で主流を占める流れとなっていくことになるの思いから開発に着手いたしました。

今回ご紹介させていただきますインプレット(2003年2月発売)は、タブレット上で電子印鑑(e-9)を使用し、電子文書上になつ

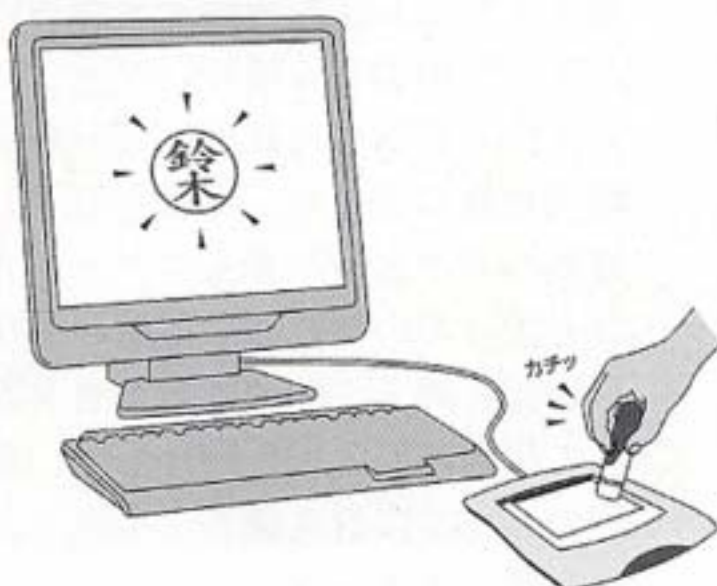
印することができるシステムです。電子印鑑のボタンを押すと内部に組み込まれたIDを認識し、個人の印鑑データを呼び出すことができ、ユーザ・パスワードの管理をすることなく、任意の位置になつ印することができます。また、キャップを外せば通常のスタンプとして、紙にもなつ印ができます。

開発品の特徴

電子印鑑(e-9)に内蔵されたICチップ内には、ユニークな数値(43億通り以上)がプリセットされており、この数値は専用タブレット(e-tablet)を通じて、アプリケーション(パソコン決裁)へ通知されます。

電子印鑑が、タブレットと通信を行う仕組みは、株式会社ワコムが所有する電磁誘導方式を採用し

使用イメージ



e-9各部位紹介

ボタン
なつ印動作に使用します。

印面

ICチップ

e-9ごとに固有のIDを持ち、個人の印鑑を呼び出すことができます。

印面キャップ